

1 事業概要

(1) 市制100周年記念事業

- 令和6年に迎える市制100周年の歴史的な節目に、市ブランドメッセージ「Colors,Future!いろいろって、未来。」を事業コンセプトとし、ブランドメッセージが意味する「多様性を認めあい、つながりあうことで、新しい魅力や価値を生み出すことができるまちを目指していく」ことを実現する機会とする。
- このコンセプトを具現化する場の設定や活動を記念事業プラットフォーム「Colors,Future!Actions」と総称して、市民一人ひとり・企業・団体等が自由に参加できる活動の場を設ける。
- 15のActionラベルを目印として、市内のさまざまな主体が重なりあい、つながりあいながら「Colors,Future!Actions」を展開する。
- 市制100周年記念事業の象徴的な事業として全国都市緑化かわさきフェアを令和6年度に開催する。



市制100周年を機に、
川崎市を知って関わって好きになってもらう取組を推進
⇒シビックプライド（川崎への愛着と誇り）の醸成

(2) 全国都市緑化かわさきフェア

令和4年2月「全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子」策定

・かわさきフェアでは、みどりが持つポテンシャルを効果的に活用し、これまで培ってきた川崎の強みや各地域の特色を活かしながら、各分野の取組と連携して、多様な主体がつながり、行動するきっかけとする市民総参加型のフェアとなるよう、フェア開催以降にもつながるさまざまな取組を、フェア開催前から展開していく。

名称

第41回 全国都市緑化かわさきフェア

主催者等

主催者：川崎市、公益財団法人都市緑化機構

実施主体：川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会（以下「実行委員会」という）

開催期間

令和6年10月中旬～11月上旬、令和7年3月上旬～3月下旬

会場

コア会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地

協賛連携会場等：駅、商業施設、民有空地、区役所、公園緑地

2 実行委員会の取組

(1) 実行委員会組織の概要

目的：市制100周年記念事業及びかわさきフェアの円滑な実施及び運営を一体的に推進する

会長：福田 紀彦（川崎市長）

設立日：令和4年9月1日

参画団体数：276団体（設立当初）

⇒ 311団体（R5.3.15時点）



◆ 第1回総会の開催

日時：令和4年9月1日

場所：川崎市産業振興会館

内容：市制100周年記念事業基本計画「Colors,Future!Actions ガイド」、令和4年度事業計画、収支予算等の承認

(2) 幹事会の活動状況

ア 市制100周年幹事会

役割：実行委員会が主体となって行う記念事業の企画及び実施に関すること等の審議
構成：実行委員会参画団体から市の多様性や特色を踏まえ選出した12団体

	役職	氏名	所属
1	幹事長	浅岡 浩	川崎信用金庫 総合企画部長
2		向田 泰彦	川崎商工会議所 総務課長
3		若井 悠樹	株式会社 チッタ エンタテインメント 広報宣伝室係長
4		青山 洸	かわさき若者会議
5		館 勇紀	川崎市PTA連絡協議会 会長
6		大西 絵満	かわさき市民放送株式会社 代表取締役
7		荻野 るりか	社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 総合研修センター課長
8		北嶋 朝香	一般社団法人川崎市観光協会 広報担当主任
9		内藤 達久	新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム 事務局長
10	副幹事長	山口 貴義	富士通株式会社川崎工場 工場長代理
11		中山 紳一	日本電気株式会社玉川事業場 玉川総務部主幹
12		加藤 浩輝	味の素株式会社川崎事業所 次長

◆ 開催状況

第1回 令和4年10月27日（事業展開、実施計画、広報）

第2回 令和5年1月13日（実施計画素案（案））

▶ 実行委員会主催事業の進め方に関する主な意見

- ・事業を進める上で、コンセプトだけでは具体的に「何を」するのか見えにくい
- ・例えば、「若者を応援する」のように、**メッセージレベルに焦点を絞ることが重要**
- ・100周年で「自分たちの生活がどう変わるのか」を意識できるようにする

⇒ **実施計画に記念事業に取組む「4つの視点」、「基本方針」、「基本理念」を追加**

第3回 令和5年3月14日（実施計画（案））



イ 緑化フェア幹事会

役割：専門的な見地からの事業の企画、調整、実施等に係る審議助言

構成：各分野に精通した団体・専門家から選出

	分野	氏名	所属
1	学識	福岡 孝則（幹事長）	東京農業大学地域環境科学部造園科学科 准教授
2	協働推進	栗原 国男（副幹事長）	東京農業大学地域環境科学部地域創成学科 非常勤講師 公園緑地協会嘱託
3	出展展示	深町 貴子	園芸家・多摩区在住
4	交通対策	米川 僚一	一般社団法人 川崎市交通安全協会 専務理事
5	会場運営	渡辺 広之	京都芸術大学芸術教養センター 客員教授
6	行催事	反町 充宏	一般社団法人 川崎市商店街連合会理事・青年部長
7	広報・PR	大西 絵満	かわさき市民放送株式会社 代表取締役
8	植物調達	矢澤 和洋	セレサ川崎農業協同組合 営農経済本部 組織部組織支援課 課長代理
9	植物管理	今井 伸之	川崎市造園建設業協同組合 副理事長
10	飲食・物販	萩原 ひとみ	一般社団法人 川崎市観光協会 理事

◆ 開催状況 ※グループヒアリングや個別ヒアリングを別途実施

第1回 令和4年9月30日（会場計画、協働、共創の取組）

【主な意見】木や花の見頃を踏まえると、「秋は時期を遅らせること」「春は3月下旬からの開催」が望ましいとの幹事からの意見や、**富士見公園の整備完了時期、土日祝日の状況、後継市である岐阜県の開催日（R7.4月下旬～）**等を踏まえて、具体的な日にちを設定。

令和6年10月中旬～11月上旬（20日間程度）

令和7年 3月上旬～ 3月下旬（30日間程度）

令和6年10月19日（土）～11月17日（日）（30日間）

令和7年 3月22日（土）～ 4月13日（日）（23日間）

第2回 令和5年2月27日（現地視察、進捗状況等）



(3) 事業創出に向けた取組

ア 共同事務局コアメンバーの公募

民間企業が持つノウハウを活かして、官民連携で実行委員会主催の市制100周年記念事業を企画・実行していくため、共同事務局内で活躍するメンバー（コアメンバー）を募集した。

◆ 募集概要

対象：実行委員会に所属する企業・団体
期間：令和4年11月7日～28日（エントリー締切）
役割：記念事業や機運醸成の企画・実施
人数：5名程度
任期：承認された日から記念事業終了まで



◆ 市制100周年プロジェクト検討チームの発足

公募・選考の結果、次の3名を採用した。

	氏名	所属
1	内山 剛志	味の素株式会社 川崎事業所 総務企画グループ
2	池田 圭佑	富士通株式会社 未来社会&テクノロジー本部 マネージャー
3	須之部 為師	株式会社ホリプロ 経営管理本部経営企画部 川崎プロジェクトチーム 副部長

◆ 活動状況

令和4年12月23日から週1回定期的に打ち合わせを開催しており、市制100周年記念事業の企画や機運醸成に向けた広報の取組等の検討を進めている。

イ みどりの共創プロジェクト（共創の取組第1弾）

かわさきフェアの開催を機に、みどりの力を活かし、市民、企業、大学、行政等の多様な主体との共創により、「みどりでつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち」の実現を目指す。

◆ 開催状況

令和4年10月4日 キックオフセミナー
10月20日 第1回ワークショップ（テーマ別課題の深耕）
11月25日 第2回ワークショップ（モデル事業案の検討）
12月21日 第3回ワークショップ（中間報告）
令和5年2月2日 第4回ワークショップ（発表準備）
3月1日 シンポジウム（提案発表会、パネルディスカッション等）



ウ アイデアの種の募集

さまざまなActionを検討する上でのアイデアとして、また、実行委員会参画団体同士が、つながり、新たなActionを始める「きっかけ」となるツールとして活用する。

◆ 取組状況（募集期間：令和4年11月8日～令和5年1月10日）



(4) 広報の取組

- ◆ 市制100周年記念事業公式ウェブサイトの開設（令和4年11月18日）
- ◆ 実行委員会向けメールマガジンの発行（令和5年2月24日 Vol. 5 発行）

3 市の取組

(1) 市が主催する100周年記念事業の実施に向けた取組

市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア推進本部（本部長：市長）における、庁内の総合調整の実施

- ・ 令和4年度は庁内検討会議を5回、本部会議を3回実施し、取組状況等を共有
- ・ 各局区ワーキングを開催して、令和5、6年度に市が主催する記念事業の企画・調整を実施
- ・ 令和6年度における記念事業の実施に向けて、引き続き各局区ワーキング等を開催して調整

(2) 機運醸成に向けたPRの実施

◆ 市制100周年PRポスター

令和6年7月1日に迎える市制100周年に向け、市制100周年記念事業「Colors, Future! Actions」のステートメントポスターと各区版ポスター7種の全8種を作成。

7区各区内で撮影された古い白黒写真等を用いて、各区の「昔」を知ってもらい、地域への興味を喚起する。（合計約5,000枚を掲出）

【掲出期間】 令和4年12月22日～令和6年3月31日

▶ 主な掲出先

- ・ 市内公共施設
- ・ 市内鉄道路線各駅
- ・ デジタルサイネージ
- ・ 実行委員会参画団体の関連施設
- ・ その他協力施設 など

ステートメントポスター



【川崎市】銀柳街



【幸区】新鶴見操車場



【中原区】丸子橋付近 【高津区】久地門筒分水 【宮前区】東名川崎IC 【多摩区】枳形山展望台 【麻生区】百合ヶ丘団地



◆ 白黒写真カラー化プロジェクト（ガバメントクラウドファンディングで実施）

1年後の市制100周年に向け、川崎のことをもっと知ってもらい、身近に感じてもらうために、まちのさまざまな白黒写真20枚をカラー化し、写真にまつわるストーリーを添えたパネル作品をかわさきマイスター（印刷技能士：流石栄基氏）の御協力により制作した。

【広報計画】

令和5年1月5日開始

- ・ 市役所・区役所などでパネルの巡回展示を実施
- ・ 市ホームページにすべての作品を掲載



◆ 市政だより令和5年1月号

<特集ページ>

「市制100周年まであと1年」



◆ 市制100周年PR広報紙

市がどのような成り立ちで発展してきたかなどをわかりやすく伝え、川崎の歴史を改めて知っていただくことを目的に、7区のタブロイド判の広報物を作成した（各区1万5千部程度）。白黒写真カラー化で取り上げた場所を中心に、区の成り立ちやその地の今と昔を手記風に掲載。

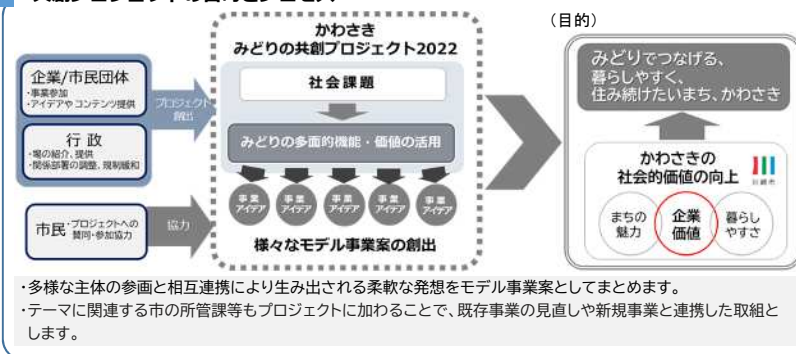
◆ 緑化フェア

各種イベントに出展するなど、機運醸成に向けたPR等を実施



4 みどりの共創プロジェクト

共創プロジェクトの目的とプロセス



●共創プロジェクトの流れ



①今年度の取組

成果 10月からの半年間の中で議論を重ね、次のような成果がみえました。

- 実行委員会に所属する様々な業種・業態の企業・団体に、意欲的に参加して頂きました。
- 継続して議論できる場を設定**したことにより、参加者の気付きや新たな動き等が感じられました。
- その結果、「〇〇×みどり」の5つのテーマで**事業提案が出されたほか、あと一歩のアイデアや後押しにより事業になりそうなアイデア**が集まりました。
- ワークショップ以外の場を通じて、**各グループの枠を超えた参加者同士の自主的な業務連携**も生まれました。
- 行政職員が同じテーブルについて議論を行ったことで、**庁内の動きや法令制度を伝えるなど、リアリティを持った議論**へつながられました。
- 教員や保育士の参加により、**子どものリアルな現状を参加者と共有**できました。

シンポジウム

- 開催概要
・3月1日(水)15:00～18:15
川崎市役所第4庁舎2階大ホール
プログラム：①基調講演／②提案発表／③パネルディスカッション

- 次の100年に向けて、川崎のみどりの価値をどう高めていくのか、基調講演や提案発表を通じて、**様々なもの、こととの掛け合わせが価値を生み出す**ことを参加者と共有しました。また、パネルディスカッションでは、**共創の実現に向けたビジネスの視点や、身近なみどりの力**などの議論から、「みどりでつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち」の実現に向けては、**より多くの人を巻き込んでいくために様々な接点をつくっていくことの重要性**などについて意見が交わされました。

②令和5年度からの取組

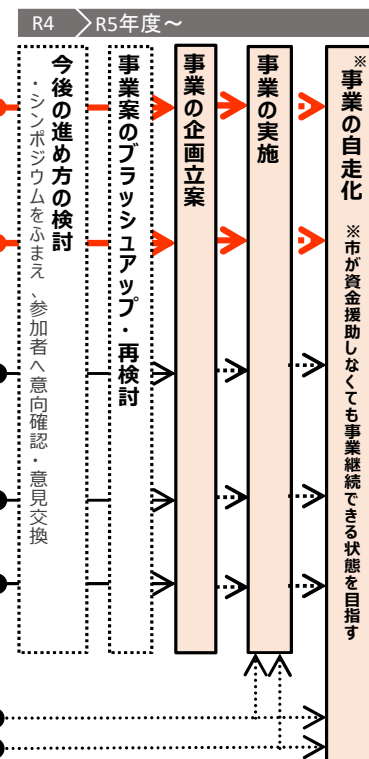
- 枠組みとして、ここでも出たアイデアや今回の成果、課題を活かすとともに、更に実行委員会の巻き込みを広げるため、令和5年度からは**100周年記念事業（①実行委員会主催事業）のプロジェクトとして展開し、事業化の見込みのある提案事業については、一定の予算を配分するなど事業化に向けた支援**を行っていきます。また、今回アイデアで留まった提案内容においても、**内容ごとに参画企業を募るなど、令和5年度以降、リスタート**できるような仕掛けを検討・実施します。

- 「Colors, Future! Actions」プラットフォームを通じて、「②川崎市主催事業」で検討を進めている事業や、緑化フェアで展開する各実施事業等について、**ここでも出されたアイデアや参画した企業・団体等とマッチングできるよう、積極的に働きかけていきます。**

- フェアにおいても、今回の提案やアイデアを活かし、**参画した企業・団体等とも連携**しながら、**フェア会場における発信や、フェアのコンテンツとして活用**ができるような仕掛けを検討・実施します。

【各グループの提案内容】

提案事業名	参加者 (50音順)	事業案の概要
①ICT×みどり みどりのOSプロジェクト ～みどりのまち、みんなで ウェルビーイングの実現～	アビ航測、NEC、NTT、神奈川県情報サービス産業協会、神奈川県測量設計業協会、京浜河川事務所、東邦印、パイム、PTA連絡協議会、富士通	・API的なプラットフォームを構築し、みどりに関連する行政のデータ、民間のデータを利活用。ユーザー側にアプリを提供し、生物調査やボランティア活動の呼びかけ、その活動量も可視化、みどりの活動の総量全体の可視化を図る。
②脱炭素×みどり 街の中が森や花 のにおい	生田緑地共同事業体、川崎市空調衛生工業会、川崎市電設工業会、グリーンパル、全日本不動産協会、DEN、東京電力パワークリット、横浜銀行、日比谷アメス、グレス工業、みつや園	・市民が脱炭素の効果を実感するために、「みどり」を体験できる、「森」「花」の匂いをまちの中に埋め込む。 ・まちの中のみどりを炭や堆肥化することで活動も促し、関わる人を増やす。
③体験・学習×みどり 小学校を自然の テーマパークにしよう	カヨコパニー、川崎塗装業協会、Syneco、東武トップアース、多摩川エコミュージアム、日本政策投資銀行、日本ボイスカド川崎地区	・「みどりについて学べる場」をネットワーク化、ミニニティ化。(農業体験を中心に) ・市内の既存のプログラムと連携、ネットワークを通して活動の継続化 ・活動継続のため、定量的・定性的な評価として社会的インパクトを測定
④健康・スポーツ×みどり みんながSupportする Sportする かわさき Green wellness Spots	きらぼし銀行、川崎市造園建設業共同組合、高津総合型スポーツクラブSELF、びあ	①継続的な運動・健康イベントの実践と評価システムの構築 ②その活動の場としてのパブリックスペースの「みどり化」 ③川崎市内のスポーツクラブの選手たちのセカンドキャリアの活動
⑤コミュニティ×みどり グリーンバック プロジェクト ～地域のみんなが主体と なり緑を通じて繋がる～	川崎市あゆみの会、かわさき生活クラブ生協、Green Neighbors・大師ONE博、大和リース、多摩川緑地パーク・広場共同事業体、東建設、日鉄興和不動産、ホリプロ	・みどりを育てる場「グロウガーデン」を設置し、みどりの活動の場とするとともに関わる人を増やしていく仕掛け。「チャレンジの場」としても機能させる。 ・みどりを広げていくツールとして移動式の「トラックガーデン」
アイデアや後押しにより事業着手できそうなアイデア		例) 緑の飲み屋／木と会話／川崎一周マラソン／大人プレイパーク
参加者同士の自主的な業務連携		例) 野菜を用いた外構デザイン



【「Colors,Future!Actions」プラットフォーム】



5 令和5年度の主な取組

○ 市制100周年記念事業 314,045千円（市予算額）

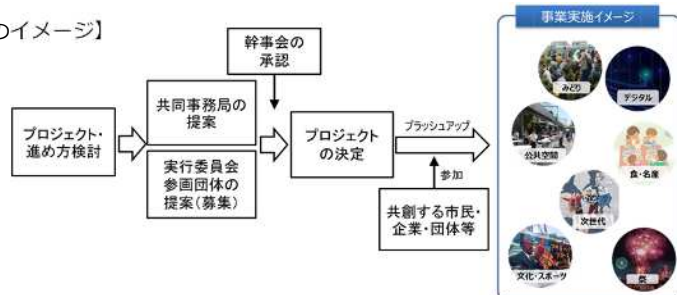
（1）実行委員会が主体となる事業の検討・推進 104,218千円

令和6年度に実施するプロジェクトの実現を見据えて、ブレ事業を試験的に実施しながら、引き続き主催事業の企画を進めるとともに、実施されたActionをニュースコンテンツとして発信するなどの広報を行い、多様な主体による事業の創出と機運醸成を促進する取組を進める。

➤ 実行委員会主催事業の検討・推進

実行委員会が主体となり、「Colors, Future! Actions」を体現する事業を実施するもので、共同事務局を中心に、実行委員会参加団体とも連携し、さまざまなプロジェクトを検討する。また、市民・企業・団体等と共創しながら官民連携で事業を推進し、取組を展開していく。

【進め方のイメージ】



➤ 「フェス&カンファレンス」の試験的な実施

「Colors, Future! Actions」のショーケースとして、取組の認知拡大・機運醸成・盛り上げにつながる誰もが楽しめる「フェス&カンファレンス」を開催する。令和5年度はブレ事業として実験的に開催し、令和6年度の本格開催を目指す。



「フェス&カンファレンス」

- ① 「あたらしい川崎」を考えるきっかけとなる市民・企業等が参加するカンファレンス（講演・対話の場）
 - ② 新たな取組や既存イベントと連携したフェスティバル
- これらを一体的に取組むイベント

➤ 実行委員会参加団体主催事業・パートナー主催事業の推進

「フェス&カンファレンス」や共通の興味テーマを持つ人たちが集まって交流を深めるイベント等を通じて機運を醸成し、さまざまな主体による事業の創出を促進する。

（2）市が主体となる事業の推進 209,827千円

ア 市制100周年記念事業に係るプロモーション等の推進 60,032千円

市制100周年記念事業のPRポスター、動画、記念誌等の広報物の企画・制作、メディアミックスによる戦略的な広報・多角的なプロモーションを展開して、多くの方に川崎の魅力を発信する。

➤ 市と実行委員会との連携した広報の展開

広報の役割分担をしながら、川崎の多様で多彩な企業・団体・市民による未来づくりを発信する。



市が実施する「知ってもらう広報」※実施イメージ



イ 市主催事業の推進 59事業 149,795千円

各局区が所管する既存の施策・事務事業に取り組む中で、100周年を契機として、一歩先を目指す+αのチャレンジを行う。

- ・ 記念事業のコンセプトやステートメントを踏まえ、多くの市民・企業・団体等が参加しながら「あたらしい川崎」を生み出し、未来につなげていけるよう、令和5年度の準備期間においては、市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアの機運醸成に向けたPRや令和6年度の記念事業を見据えた準備・検討、プレイベントなどの59事業を実施する。
- ・ 時間軸や開催場所等を意識し、さまざまな取組と連携を図りながら一体的に事業を進めていく。
- ・ 市制100周年記念事業のロゴマークや15のアクションテーマのラベルを用いた広報を行うとともに、市制100周年記念事業公式ウェブサイトや今後開催予定の「フェス&カンファレンス」などを通じて効果的に情報発信し、令和6年度の記念事業の実施に向けて統一感を持って取り組む。
- ・ 59事業以外にも、記念事業の趣旨等を踏まえたさまざまな取組を市が主体となり進めていく。

① 「機運醸成に向けたPR事業」の推進（8事業 6,805千円）

市制100周年に向けて、既存の事業や取組を活用したPR活動を展開し、機運醸成を図っていく。

② 「ひとりひとりの好きをつなぎ、かけ合わせて、一緒に川崎を育てる」取組の推進（25事業 81,258千円）

- ・ 障害者や子どもなど誰もがスポーツを楽しめる未来づくりに向けた取組
- ・ まちづくりが進行中の登戸駅周辺の公共空間を活用し多様な主体と連携してさまざまな体験ができる場を創出する取組 など



バリアフリーなスポーツ大会 公共空間を活用した体験



③ 「たくさんの人たちに感謝を抱きながら、あたらしい川崎を未来へつなぐ」取組の推進（16事業 43,235千円）

- ・ これまでの環境関連の記録写真等をデジタルアーカイブ化し、過去と未来を考える取組
- ・ 「ふるさと資産・遺産」を活用し、多摩川の歴史文化を子どもたちに伝える取組 など



デジタルアーカイブの開設 昔の「丸子の渡し」の様子



④ 「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」取組の推進（10事業 18,497千円）

- ・ 子どもと大人が「みどり」を一緒に育み、地域への愛着やつながりを創出する取組
- ・ 市民と連携した栽培体験等を通じて、古くから伝わる郷土野菜を次世代に継承する取組 など



「みどり」でつながる様子 郷土野菜の継承



○ 全国都市緑化かわさきフェア推進事業 407,890千円（市予算額）

令和6年度の秋・春に全国都市緑化かわさきフェアを市内の三大公園（富士見公園、等々力緑地、生田緑地）を中心に、市内全域を会場として開催し、市民、企業等の皆さんと一緒に川崎らしい都市の中のみどりの価値を発信していく。

◆ 実行委員会が主体となる事業の検討・推進 289,387千円

令和6年度のかわさきフェア開催に向けて、基本・実施計画を策定するとともに、市民総参加型のフェアの実現に向けた周知拡大や機運醸成を図り、多様な主体との協働・共創による取組を推進する。

◆ 関連施設整備等 118,503千円

かわさきフェア開催に向けて関連施設等の整備を推進するとともに、市主催の事業等と連携を図っていく。

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアの取組について

6 市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア 今後のスケジュール

項目	令和4年度		令和5年度				令和6年度		令和7年度			
	9月～12月	1月～3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-9月	10-3月				
体制	総会	9/1 第1回 総会	3/24 第2回 総会		● 総会③		● 総会④	● 総会⑤	● 総会⑥	● 総会⑦		
	100周年 幹事会	10/27 第1回 幹事会								1/13 第2回 幹事会	3/14 第3回 幹事会	隔月程度開催予定
	フェア 幹事会	9/30 第1回 幹事会								2/27 第2回 幹事会	年2～3回程度の会議開催の他、適宜、個別ヒアリング等を実施	
取組	市制100 周年記念 事業	● 基本計画策定		● 実施計画策定				● 実施計画改定				
		アイデアの種 募集		① 実行委員会主催事業の企画・検討						市制100周年 記念事業の実施 ① 実行委員会主催事業 ② 市主催事業 ③ 参画団体主催事業 ④ パートナー主催事業 7/1 記念式典	取組の 継続・発展	
		広報の実施・機運醸成（フェス＆カンファレンスの実施等）										
		PR事業・プレ事業等の実施（①～④事業）										
	協賛金計画の検討・実施											
フェア	基本・実施計画策定準備		● 実施計画策定 （～R5.8）									
	● 10/4～みどりの共創PJ（WS全4回）		● 3/1シンポジウム		協働・共創の取組の検討・実施（可能なものから随時、取組に着手）						10月～ 3月～ フェア開催 フェア開催 緑化祭	取組の 継続・発展
	プレ・準備期間		市民総参加に向けた取組の推進									
			会場準備・ボランティア募集等									
			全国都市緑化祭（皇室行事）開催準備									